

杵築市立中学校「新制服のあり方」についての基本的方針

令和 5年 6月

杵築市教育委員会

杵築市教育委員会では、現行の中学校制服の機能性や多様性を求める声の高まりを受け、令和5年3月に学校関係者や保護者代表等を委員とした「杵築市立中学校制服検討委員会」を立ち上げました。

これまで、制服の機能性、多様性、経済性等の観点から、3回の議論を重ねてきました。また、その間、児童・生徒及びその保護者や教職員を対象にアンケートを実施し、意識の把握にも努めてきました。

この度、アンケート結果等を踏まえ、基本的方針を以下のように決定しましたので、お知らせいたします。

今後、この基本的方針をもとに、機能性の向上、多様性への配慮、経済的負担の軽減等を勘案して、中学校3校統一仕様の標準制服の導入に向けて準備を進めるとともに、「きつき制服バンク」をはじめ保護者負担軽減につながる取り組みも継続していきます。さらに、他地域の事例を研究し、生徒・保護者等の意見も伺いながら、議論を深めてまいります。

記

1. 新制服の導入について

導入に際しては、児童・生徒及び保護者の意見を十分に取り入れられる時間と場が必要である。また、制服取扱店の準備期間の確保のため配慮が必要である。

以上のことから、新標準服の導入時期は令和7年4月（現5年生が中学校入学時期）を目標とする。

2. 導入における配慮について

機能性、多様性、経済性等の諸課題並びに児童・生徒、保護者の要望にできる限り対応するために、下記のように配慮しながら新しい制服の導入・選定をする。

■機能性への配慮

- ・近年の気温の上昇、空調導入等による気温差に対応しやすく、また、様々な活動の支障にならない動きやすいデザイン、生地等とする。
- ・耐久性にすぐれ、洗濯やアイロンなど家庭でのケアがしやすい素材等を採用するとともに生徒の成長に対応できる仕様とする。
- ・夏服を通気性のよいものにするなど猛暑に対応したものとする。

■多様性への配慮

- ・性別に関わらずスカートやスラックス、キュロット等を自由に組み合わせ可能であるブレザータイプの杵築市内統一の標準服を導入する。

■経済性への配慮

- ・杵築市内統一の標準服とすることで、数量をこれまでより確保し、現行もしくは現行以下の価格設定をめざす。
- ・標準服への移行期間をリユースも可能となるよう令和7年度～令和9年度の3年間とし、新1年生においても旧制服、標準服が混在する期間とする。令和10年度入学の1年生から全員標準服とし、令和12年度に全学年の生徒が標準服となるようにする。

■その他

- ・デザイン選定の際に児童生徒・保護者の意見が反映できるようにアンケートを実施する。

【移行期間の標準服 イメージ】

	1年生	2年生	3年生
令和 7年度（1年目）	混在可	混在可	混在可
令和 8年度（2年目）	混在可	混在可	混在可
令和 9年度（3年目）	混在可	混在可	混在可
令和10年度（4年目）	新制服のみ	混在可	混在可
令和11年度（5年目）	新制服のみ	新制服のみ	混在可
令和12年度（6年目）	新制服のみ	新制服のみ	新制服のみ

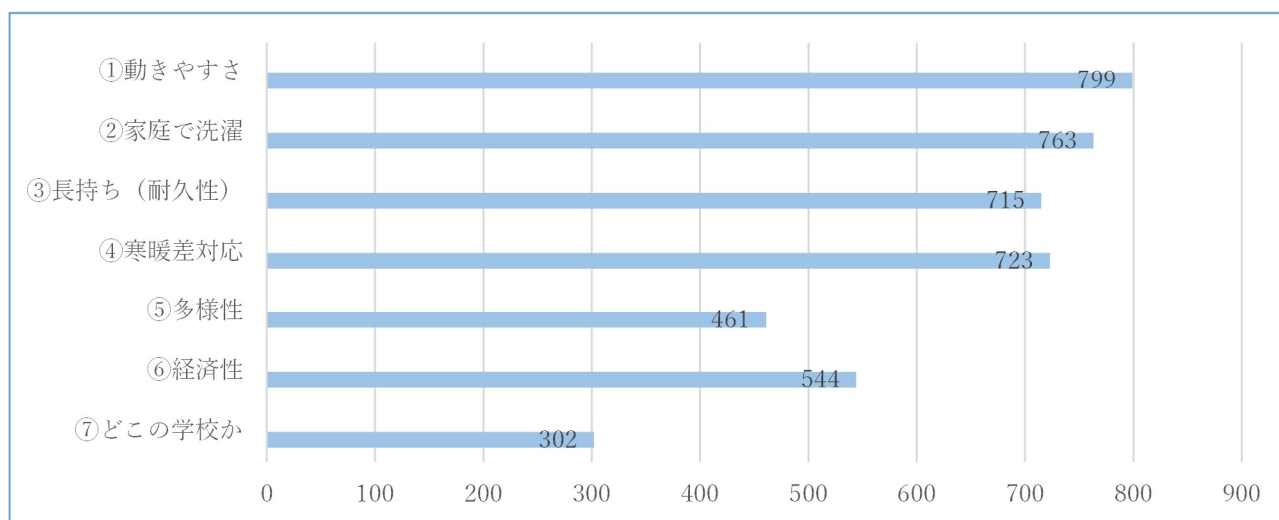
参考資料

杵築市立中学校制服の見直しに係るアンケート結果

令和5年4月24日～5月1日の期間で、小4・小5・小6の児童保護者、中2・中3の生徒、市内小中学校の全教職員を対象に中学校の制服の見直しに係るアンケートを実施し1009人から回答をいただきました。

ブレザータイプ等に見直すことに対して肯定的な回答（賛成・どちらかという賛成）が、小学校児童で81.7%、小学校保護者で77.3%、児童保護者合計で80.0%となりました。

自由記述欄において、「動きやすい服装がいい、暑さや寒さに対応できるものにしてほしい、汚れてもすぐに落とせるものにしてほしい」といった機能性を求める声や、「女子もズボン（キュロット）を選択できるようにしてほしい」といった多様性への配慮を求める声などがありました。



単位：人

今後の予定

- ・業者の選定
- ・展示会の実施（デザインアンケート）
- ・デザインの決定

※随時、杵築市のホームページでお知らせします。

杵築市教育委員会
学校教育課